

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスたいよう①②		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日	～	令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日	～	令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や発達状況を十分に理解した上で、個別支援計画を作成し、それに基づいた支援が行われている点が高く評価されています。 保護者からも「子どもに合わせて支援してくださっている」との意見があり、専門性の高い支援体制が事業所の大きな強みとなっています。	一人ひとりの特性や発達段階、興味関心を丁寧に把握し、個別支援計画に基づいた支援を行っています。また、日々の支援の中で子どもの様子を観察しながら支援内容を柔軟に見直し、子どもが安心して活動できる環境づくりを意識しています。	地域の児童館や放課後児童クラブ等との交流機会について、保護者の認知が十分ではない状況が見られました。今後は地域資源との連携を検討するとともに、事業所の活動や地域との関わりについて保護者へ分かりやすく発信していくことで、地域とのつながりをより深めていきます。
2	日頃から子どもの様子を保護者へ伝え合うことができている点や、相談に対して丁寧に対応している点について、非常に高い評価を得ています。 保護者からも「日々の様子を教えてくれる」「急な相談にも対応してくれる」といった声があり、安心して相談できる関係性が築かれていることが強みです。	連絡帳や送迎時の会話などを通じて、日々の子どもの様子や成長の変化を保護者と共有することを大切にしています。また、保護者からの相談や困りごとに対して丁寧に対応し、家庭と事業所が連携しながら子どもの成長を支えることを意識しています。	保護者向けの助言や相談対応は日常的に行っていますが、家族支援の取組として保護者に十分伝わっていない可能性があります。今後は保護者向けの情報提供や相談機会の充実を図るとともに、家族支援の取組内容をより分かりやすく周知していきます。
3	「子どもが安心して通所している」「通所を楽しみにしている」といった回答が多く、事業所が安心感のある居場所となっていることがうかがえます。 また、季節の工作など家庭ではなかなかできない活動が評価されており、活動内容や環境づくりも強みとなっています。	子どもが楽しみながら様々な経験ができるよう、季節の工作や集団活動など活動内容が固定化しないよう工夫しています。子ども同士の関わりや成功体験を大切に、自己肯定感や社会性を育むことを意識した活動づくりを行っています。	事業所の活動や支援内容については日々の連絡等で共有していますが、すべての保護者に十分伝わっていない部分もあると考えられます。今後は通信やSNS等を活用し、活動内容や子どもの成長の様子をより分かりやすく発信することで、事業所の取組への理解を深めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の支援や家族への助言などは行っているものの、保護者にとっては「家族支援の取組」として認識されていない可能性があります。活動内容や支援の目的について、より分かりやすく情報発信することが必要と考えています。	日常的に行っている支援や保護者への助言等が、「家族支援の取組」として十分に伝わっていない可能性があります。活動内容や支援の意図を保護者に分かりやすく伝える機会が不足していることが要因の一つと考えられます。	事業所で行っている支援内容や活動の様子について、通信やHP、連絡帳等を活用しながら保護者へ分かりやすく発信していきます。支援の目的や子どもの成長の様子を共有することで、事業所の取組への理解を深めていきます。
2	地域の児童館や他の子どもとの交流機会について、十分に実施できていない、または保護者に伝わっていない状況があります。地域との連携や交流機会の創出について、今後検討していく必要があります。	地域の児童館や他の子どもとの交流機会について、実施機会に限られている、または実施していても保護者に十分伝わっていない可能性があります。地域資源との連携や交流機会の確保が課題となっています。	保護者からの相談や助言の機会を大切にするとともに、必要に応じて子育てに関する情報提供や面談の機会を設けるなど、家族支援の取組を充実させていきます。保護者のニーズに配慮しながら、無理のない形で情報交換の機会づくりも検討していきます。
3	保護者によって、家族交流や保護者会などの取組を望む方と望まない方がおり、すべてのニーズに対応することが難しい状況があります。そのため、保護者の意向を把握しながら、無理のない形で支援の充実を図る必要があります。	保護者会や交流の機会などについて、必要と感じる保護者と希望しない保護者の双方が存在しており、全てのニーズに対応することが難しい状況があります。そのため、保護者の意向を把握しながら柔軟に対応する必要があります。	地域の児童館や関係機関との連携を図り、地域の子どもたちと関わる機会づくりを検討していきます。地域資源の活用を通して、子どもたちの社会性の育成や地域とのつながりを大切にした支援を進めていきます。